



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第18号 (H23.9.30)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 前田 哲司

質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



『論語』は、心の伴走者！

9月21日(水)に30万冊を越えるベストセラー本「こども論語塾」の著書である安岡定子先生にわかりやすく『論語』の授業をしていただきました。あっという間の50分間で、論語というものに親しみが持てたような気がしました。背筋を伸ばしての素読は本当に気持ちがさわやかになりました。

安岡定子先生プロフィール

東京都生まれ。二松学舎大学文学部中国文学科。漢学者、故安岡正篤氏の孫。安岡活学塾の講師。



安岡先生の著書「みんなの論語塾」から……、『論語』のほんとうの素晴らしさに気づいたのは、…きっかけは高校2年の一学期に、突然やってきました。体の不調を覚えて病院に行った私は、お医者さんから「心臓病」と診断されたのです。手術こそ受けずすみましたが、「安静にしていなくて全治までに何年もかかります」と言われて、残りの学期をほとんど欠席することになってしまいました。療養生活は、長いトンネルのなかにいるような感じでした。学校行事にも参加できず、大学受験もあきらめて……。過ぎてしまえばなんでもないことも、当時は深刻に受け止めていました。そんな生活の中で、唯一プラスになったことがありました。自分の心を見つめる時間がたっぷりあったことです。これから先、どうなるのか。どうしたいのか。なにを学びたいのか。なにになりたいのか。身近にいた祖父を通して中国古典への興味が深まったのはこの時期です。『論語』のなかに次の一文があります。

「徳は弧ならず、必ず隣有り」、現代誤訳すると「どんなときも、思いやりの気持ちを持っている人は、けっしてひとりぼっちにならない。きっとあなたと同じようなやさしい気持ちを持った友人があらわれて、あなたのことを理解し、助けの手を差し伸べてくれるはずだから」というものです。私は、『論語』の中でこの一文が一番好きです。あの当時を振り返ったとき、この文章の本当の意味を、いまだからこそ実感することができます。同級生から遅れて大学へ進学し、改めて『論語』に触れて、ますます好きになりました。

人を勇気づけ、励ましてくれる力。『論語』には、そんな不思議なパワーがあります。みなさんも、将来、困難にぶつかったり苦境に立ったりしてとき、自分の心の支えとなってくれる素晴らしい言葉の数々を、ぜひ『論語』のなかから見つけ出してください。……

子供たちは、下記の内容を安岡先生から習いました。

- 子曰わく、「学びて思わざれば、則ち罔し。思いて学ばざれば、則ち殆し」
- 子曰わく、「人の己を知らざるを患えず。人を知らざるを患う」
- 子曰わく、「剛毅木訥、仁に近し」
- 子曰わく、「君子は義に偷り、小人は利に偷る」
- 子曰わく、「之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず」



生徒の感想から

- …一番心に残ったのは、**子曰わく、「君子は義に偷り、小人は利に偷る」**だった。私は利益より正しい道を進んだ方がいつか自分に自信が持てるということに本当にそうだと思う。
- …この講演で心に残ったのは、**子曰わく、「学びて思わざれば、則ち罔し。思いて学ばざれば、則ち殆し」**という言葉です。先生がおっしゃった授業で分かった気になっても、帰って復習しないと分かったことにはならないという論語の解説が特に心に残りました。
- …『仁』を生かすことが大切なのだと思います。人は生まれてときから仁を持っているそうなので、それをしっかり掘り起こしていきたいです。来年論語を勉強します。とても楽しみになりました。
- …一番心に残った言葉は、**子曰わく、「剛毅木訥、仁に近し」**です。私の将来の夢は、まだはっきりとはきめられません。それで、私には志というものが無いように思えます。だから、私は私の志を見つけて、それに向かって努力できるようになりたいと思いました。
- …みんな「仁」を持って生まれてきているので、私も思いやりを持ってやさしい人になれると思いました。また、疑問を持ったときに考える事をしっかりしようと思いました。しっかり考えて、しっかり答えを出せるようになりたいです。
- …一番心に残ったのは、**子曰わく、「之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず」**でした。私も何でもできるようになりたいと思っています。勉強は特にできないので、好きになれるように、楽しむことができるようにしたいです。
- …もっと論語について知りたいと思うほど、論語が好きになりました。安岡先生の「まず自分で考える」という言葉が心に残りました。論語の中では、「他人の実力を自分が見極められないことを心配しなさい」という言葉が心に残り、自分が足りないことだと思いました。
- …特に私が好きな孔子の教えは、**子曰わく、「人の己を知らざるを患えず。人を知らざるを患う」**です。私は、ほめられた時は、とてもうれしいけど、自分の実力や努力が認められない時は、ショックを受けたこともあります。しかし、孔子は、それを嘆くことはないと言って、他人の実力を自分が見極められないことを心配しなさいと言いました。私は、そこを見習おうと思います。
- …今日の講義で論語にとってもふれあえた気がしました。また、論語は私達の生活に必要なことがたくさんありました。哲学の条件である「考える習慣」は先生方もよくおっしゃるので、本当に大事なんだなと思いました。…今日の講義で一番素敵だと思った言葉は、「自分の中にある仁を引き出さなさい」という言葉です。
- …「人として、どうあるべきか」という話を安岡先生にさせていただき「答えをあやふやにしてはしけない」ということを教わって、正しいことなら、ためらわずにすべきということ学びました。
- …「論語」をみんなで先生の後について素読したとき、意味が分からない言葉もあったけど無心になって読むとなんだか心に染みこんでくるような気がしました。
- …心にとどめておきたいと思うのは、**子曰わく、「剛毅木訥、仁に近し」**という言葉です。私もこの言葉のように、何かをやりとげるような心の強さがもてるようになりたいと思いました。
- …今の日本も、仁のある人が多いとはいえません。政治家たちも利益ばかり考えています。だから、今の日本には孔子の教えがピッタリだと思うし、私達一人ひとりも考えた方がいいと思います。
- …よく聞いていると学校で教わっていることと、とても似ていた。「思いやりの心が一番大切」とか「持っている知識は実践しないと意味がない」など孔子の教えは、時代が変わった今でも、大切にしなければいけない教えだった。

福祉体験活動

<手話>

福祉教育の一環として、手話通訳者である大橋正敏先生を迎えて、手話を通して障害者について学びました。



<点字>



4人の先生を迎えて点字を学びました。

